



まさかず
かくま正一通信
(No.19)

会員の皆様へのごあいさつ

皆様こんにちは。平素より、私の政治活動や後援会活動をお支え頂き心から厚く御礼申し上げます。お陰様で、6期目に入った最初の1年間、充実した活動が出来ました。私は、地元、新川地区そして富山県の課題克服に努力すると共に、県民が安心して暮らし将来に夢と希望の持てるふるさとづくりに、これからも使命感を持って全力で取り組んでまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

私は、現在、次の役職に就いております。

〈県議会の委員会〉

議会運営委員長

農林水産常任委員会委員

新幹線・総合交通対策特別委員会委員

政策討論委員会委員（随時）

〈自民党政務調査会〉

医療問題調査会長

福祉環境部会、農業問題調査会、水産問題調査会所属

がん対策推進条例制定プロジェクトチームメンバー

〈議員連盟〉

富山県日韓友好議員連盟会長

MOA議員連盟会長

〈県東部、新川地域関係〉

県東部地域産業活性化議員協議会会長

新川地域推進協議会会長

下新川海岸整備事業促進議員連盟会長

他多数

これらの活動状況については、私のホームページに詳しく掲載してあります。

「かくま正一」で検索して下さい。

※私は、これまで様々な活動や発言をしてきました。その内容は、急を要する事柄もあれば、2、3年やもっと先を展望した事項もあります。その問題意識の多くは、皆様との対話や頂くご意見が源です。これからも皆様との意見交換を大切にしていきたいと思います。



トピックス

○農林水産常任委員会での問題提起が生きる

①H23.6.27の委員会で、防災（特に津波、高波）の観点から海岸林の整備促進の必要性を取り上げた。

➔ 平成24年度予算で、津波の影響も考慮した海岸林の造成計画のため、植生調査、地形調査予算13,650千円が予算化された。

②H24.3.22の委員会で、今冬の豪雪による果樹の樹体被害に対する支援策の必要性を取り上げた。

➔ 主枝の復旧支援（農薬、ボルト等）や新たな苗木代に対する支援等県予算400万円を予備費充当することが決まった（市町村も同額補助）。



美しい海岸林の一層の整備

○並行在来線に関する政策討論委員会（H24.4.9）で発言

①早期に3セク会社の社長を内定し、経営責任体制を整え、そのリーダーシップの下で、沿線各地区で住民との対話集会をきめ細かく開催すべき。

②料金がどうなるか、上げざるを得ないとすればその理由を分かりやすく、住民に説明することが大事。

③首都圏から来る北陸新幹線の乗客が3セクを利用し沿線の町を訪れるよう、沿線地域の魅力アップと発信が大事（この点は時間がなく発言出来ず）。

【若干のコメント】私は、3セク会社の経営見通しが厳しいからこそ、①～③の点が大事と考える。

（参考）厳しい収支見通し



資金計画	開業翌年度	開業10年目	10年間累計
初期投資、開業後投資を公的支援 (300億円超)	▲7～▲8億円	約▲3億円	約▲42～▲45億円
今後の対処方針： ①JRiに対し、必要資産について極力低額譲渡となるよう折衝する。 ②開業後の投資に係る公的支援及び経常収支の不足額を賄うために、経営安定基金を設置する方向で検討。			

○東日本大震災で発生したがれきの受け入れについての県議会対応

富山県議会は2月定例議会で、東日本大震災で発生したがれきの広域処理の推進について、国に対し責任ある対応を求める決議をすると共に、自民党として石井知事に対し受け入れに積極的に対応するよう求めた。

石井知事は、4月に岩手県を訪問し、がれきの安全性を確認し岩手県と覚書を交わした。今後、国、県が責任を持って地元市町村と一緒に住民に説明し理解を頂いた上で受け入れ開始となる。

進むインフラ整備 — 一層の促進に努力します —



県道入善朝日線
(赤川橋の架け替え工事)

湾岸道路
(元屋敷～宮崎間)



主要地方道黒部朝日公園
線（野中地内）

国道8号バイパス
(古御堂～江口間)



舟川ダム工事

《会員の皆様へのお願い》 熊正会の新会員をご紹介しますようお願い申し上げます。（年会費：1口5,000円）

まさかず かくま正一通信 (No.19)

発行日 平成24年4月

発行者 熊正会・自由民主党富山県議会議員会

事務所 〒939-0742 下新川郡朝日町沼保1173-1 TEL 0765-82-1333 FAX 0765-82-2113

正一メールアドレス masakazu@kakuma.net

「かくま正一通信」は資源保護のため再生紙を使用しています。